

内水面支場 News!

かわら版 Contents

涸沼で再びチャネルキャット フィッシュを確認

涸沼での今後の動向を注視

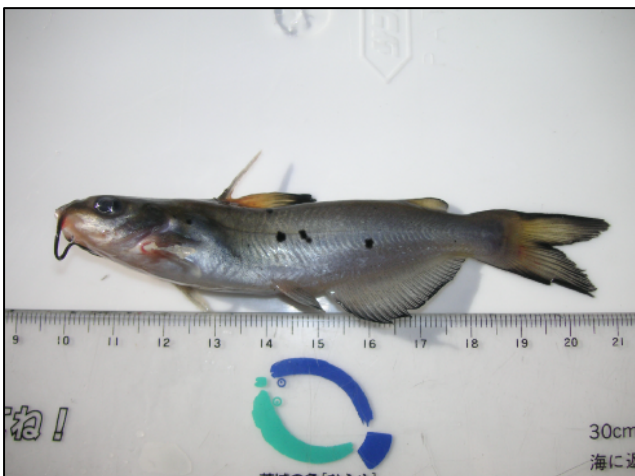


図1 12月8日に涸沼の張網で捕獲されたチャネルキャットフィッシュ



図2 今回チャネルキャットフィッシュが捕獲された場所 (Yahoo!地図)

表1 捕獲されたチャネルキャットフィッシュの概要

| | |
|------|-------------------|
| 漁獲日 | 平成23年12月8日 |
| 場所 | 茨城町小浦地先の涸沼 |
| 漁法 | 張網(小型定置網; 地方名グレ網) |
| 全長 | 11.0cm |
| 体長 | 8.8cm |
| 体重 | 9.8g |
| 推定年齢 | 1歳 |
| 性別 | 不明(生殖腺未発達) |

12月8日に涸沼の張網(小型定置網)で特定外来生物のチャネルキャットフィッシュ(アメリカナマズ)が漁獲されました。涸沼でこの魚が初めて確認されたのは平成20年5月で全長5cmの稚魚、2回目は平成21年10月で全長46cmの成魚、今回は全長11cmの幼魚でした。

漁獲された場所は、1回目は涸沼川上流、2回目は涸沼奥部、今回は涸沼中央部の北岸でした。漁業者の話では、今回張網を設置して2週間ほどで捕獲されたとのことでした。

涸沼は淡水と海水が混じる汽水湖であり、チャネルキャットフィッシュはふ化時の塩分耐性が低いとされていますが、今後も情報を集めて、涸沼における分布の動向を注視していく必要があります。